

大鹿村中央構造線博物館たより 144号



2021年5月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

岩石園の説明プレートが新しくなりました！

4月上旬に、岩石園の説明プレートの修繕・塗り替えをしました。看板屋さんの方で持ち帰って作業をしていただいたため、1週間ほど説明プレートがない状態となり、大変ご迷惑おかけいたしました。

新しいプレートでは、配色や記載内容も一部新しくなっています。一番大きな変更点は、これまで地質帯の表記を「四万十帯」としていた部分を「四万十帯北帯」と変えたことです。最近の研究によって、「四万十帯」の岩石は、中生代白亜紀（約1億4500万年前～6600万年前）の付加体（*注）である北帯と、新生代古第三紀（約6600万年前～2303万年前）の付加体である南帯に分けられることが分かり、大鹿村内には、北帯の部分のみ分布しているため、「四万十帯北帯」の表記としました。

近いうちに岩石園の看板2枚も、説明プレートの改訂に合わせて、内容を刷新予定です。もうしばらくお待ちください。（宮崎）

（*注）付加体とは、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むときに、海洋プレートの上に堆積したものがはぎとられ、大陸プレート側に付加したものをいいます。



新年度体制についての訂正

先月の博物館たよりに掲載いたしました新年度体制について、訂正があります。「4月から学芸員の職務は、元学芸員補の宮崎が務めることとなりました」という説明を掲載いたしましたが、宮崎は引き続き学芸員補のままで、学芸員の職務は、河本顧問が非常勤で兼務することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。（宮崎）

～診療所からのお知らせ～

発熱で受診希望の方は診療所へご連絡ください ☎ 39-2111